

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年11月21日

札幌地方裁判所民事第4部

裁判所書記官 西 戸 亜希子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7年12月 5日から 令和 7年12月15日まで
開札期日	日 時 令和 7年12月18日 午前10時00分 場 所 札幌地方裁判所別館4階開札場
売却決定 期日	日 時 令和 7年12月24日 午前 9時20分 場 所 札幌地方裁判所民事第4部
特別売却 実施期間	令和 7年12月22日から 令和 7年12月26日まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年11月21日から当庁記録閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	25,080,000 20,064,000	一括	5,016,000	106,268	25,727
1	5,080,000				
2	20,000,000				
		</			



物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------------------------|
| 1 | 所 在 | 千歳市清流二丁目 |
| | 地 番 | 17 番 13 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 237.86 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 千歳市清流二丁目 17 番地 13 |
| | 家屋 番号 | 17 番 13 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造合金メッキ鋼板ぶき 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 76.18 平方メートル
2 階 59.62 平方メートル |

注 意 書

- 1 本件の入札には、令和2年4月1日に施行された改正民事執行法第65条の2により、暴力団員等に該当しないこと等の陳述書が必要です。

陳述書の提出がない場合には入札が無効となります。また、陳述書等の記載に不備があった場合、入札が無効になる場合があります。陳述書下欄の注意事項をよくお読みください。

無効になる入札が散見されています。無効な入札にならないようご注意ください。

(無効になる入札例)

- 陳述書や陳述書別紙の氏名に「フリガナ」がない。
- 生年月日の記載がない。
- 「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者」(※)の□にチェックが入っているが、別紙「自己の計算において買受けの申出をさせようとする者に関する事項」の添付がない。

(※)「自己の計算～とする者」とは、自ら不動産を取得する意図の下で、あなたに対し資金提供をして入札をさせ、不動産を取得しようとしている者のことをいいます。

例1) Bは物件を取得したいと考えたが、自らは入札せずA(あなた)に資金を提供し、Aが入札した。

→Bは「自己の～とする者」に該当する。

例2) Aは物件を取得したいと考えて、金融機関Cから融資を受け、Aが入札した。

→Cは「自己の～とする者」に該当しない。

- 2 売却決定期日は、同法68条の4により、最高価買受申出人が暴力団員等に該当するか否かを警察へ照会した場合には、2週間程度延期する場合があります。

- 3 入札に当たってご不明な点は、当庁執行官室(☎011-281-3535)に直接お問い合わせいただくか、不動産競売物件情報(通称BIT)サイトのトップ画面「手続案内」でご確認ください。

札幌地方裁判所民事第4部不動産競売係

物 件 明 細 書

令和 7年10月 9日

札幌地方裁判所民事第4部

裁判所書記官 西 戸 亜希子

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

Bが占有している。同人の占有権原は使用借権と認められる。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意



味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。

- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。
このほか、B I Tシステムのお知らせメニューにも登載されています。



11

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------------------------|
| 1 | 所 在 | 千歳市清流二丁目 |
| | 地 番 | 17 番 13 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 237.86 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 千歳市清流二丁目 17 番地 13 |
| | 家屋 番号 | 17 番 13 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造合金メッキ鋼板ぶき 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 76.18 平方メートル
2 階 59.62 平方メートル |



令和 7 年(ケ)第 45 号
令和 7 年 6 月 12 日受理
令和 7 年 7 月 4 日提出

現況調査報告書

札幌地方裁判所
執行官

菅 原 誠

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--------------------------------------|
| 1 | 所 在 | 千歳市清流二丁目 |
| | 地 番 | 17 番 13 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 237.86 平方メートル |
| 2 | 所 在 | 千歳市清流二丁目 17 番地 13 |
| | 家屋 番号 | 17 番 13 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造合金メッキ鋼板ぶき 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 76.18 平方メートル
2 階 59.62 平方メートル |

不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	千歳市清流2丁目17番13号	
土地	物件1	
現況地目	☒ 宅地（物件1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）	
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）	
その他の事項	「その他の事項」のとおり	
建物	物件2	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である。 ☐ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：	
物件目録にない附属建物	☒ ない { 種類： ☐ ある { 構造： 床面積：	
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☒ その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している。 ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）	
その他の事項	「その他の事項」のとおり	
執行官保管の仮処分	☒ ない [地方裁判所 支部 平成 年（ ）第 号 ☐ ある [保管開始日 平成 年 月 日	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

（注）チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
（ 2 枚目）

占有者及び占有権原（物件2関係）			
占有範囲		■全部 □一部（ ）	
占有者		□債務者 ■B	
占有状況		□敷地 □駐車場 □ ■居宅 □事務所 □店舗 □倉庫 □	
■関係人（B（占有者）□ （ ））の陳述／□提示文書（ ）の要旨			
占有権原		□賃借権 ■使用借権 □	
占有開始時期		令和 5年 6月10日	
最初の	契約日	令和 5年 6月10日	
契約等	期間	令和 5年 6月10日から □令和 年 月 日まで 年間 ■期間の定めなし	
更新の種別		□合意更新 □自動更新 □法定更新	
現在の	期間	令和 年 月 日から □令和 年 月 日まで 年間 □期間の定めなし	
契約等	貸主	■所有者 □その他の者（ ）	
当事者	借主	■占有者 □その他の者（ ）	
賃料・支払時期等		毎月 金 円（毎月 日 限り 月分支払） □前払（ 分 円） □相殺（ 分 円）	
敷金・保証金		□ない □ある（□敷金 円 □保証金 円）	
特約等		□譲渡・転貸を認める □	
その他		「関係人の陳述等」のとおり	
執行官の意見		■上記のとおり □下記のとおり □「執行官の意見」のとおり	

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
（ 3 枚目）

そ の 他 の 事 項

■ 土地関係

- 1 法務局備付け図面等を基に概測した結果、ほぼ登記どおりと推測されるが、境界標は3か所しか確認できず、正確な位置及び面積の把握には専門家の測量を要する。
- 2 目的土地は、概ね平坦である。また、北東側道路及び他の隣地とは、概ね等高に接面している。
- 3 南西側境界付近に所有者所有の木柵（高さ約1.2メートル）がある。
- 4 北側部分から東側部分にかけてアスファルト舗装がされている。

■ 建物関係

- 1 玄関ホール（約0.1メートル）及び1階階段室（約0.05メートル）の内壁に穴が開いている。
- 2 居間の台所側の内壁クロスが一部剥離している。
- 3 Bによると、設備で不具合のあるものはないとのことである。
- 4 所有者所有のスチール製仮設物置A（約6.09平方メートル）及び同B（約1.96平方メートル）がある。

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
（ 4 枚目）

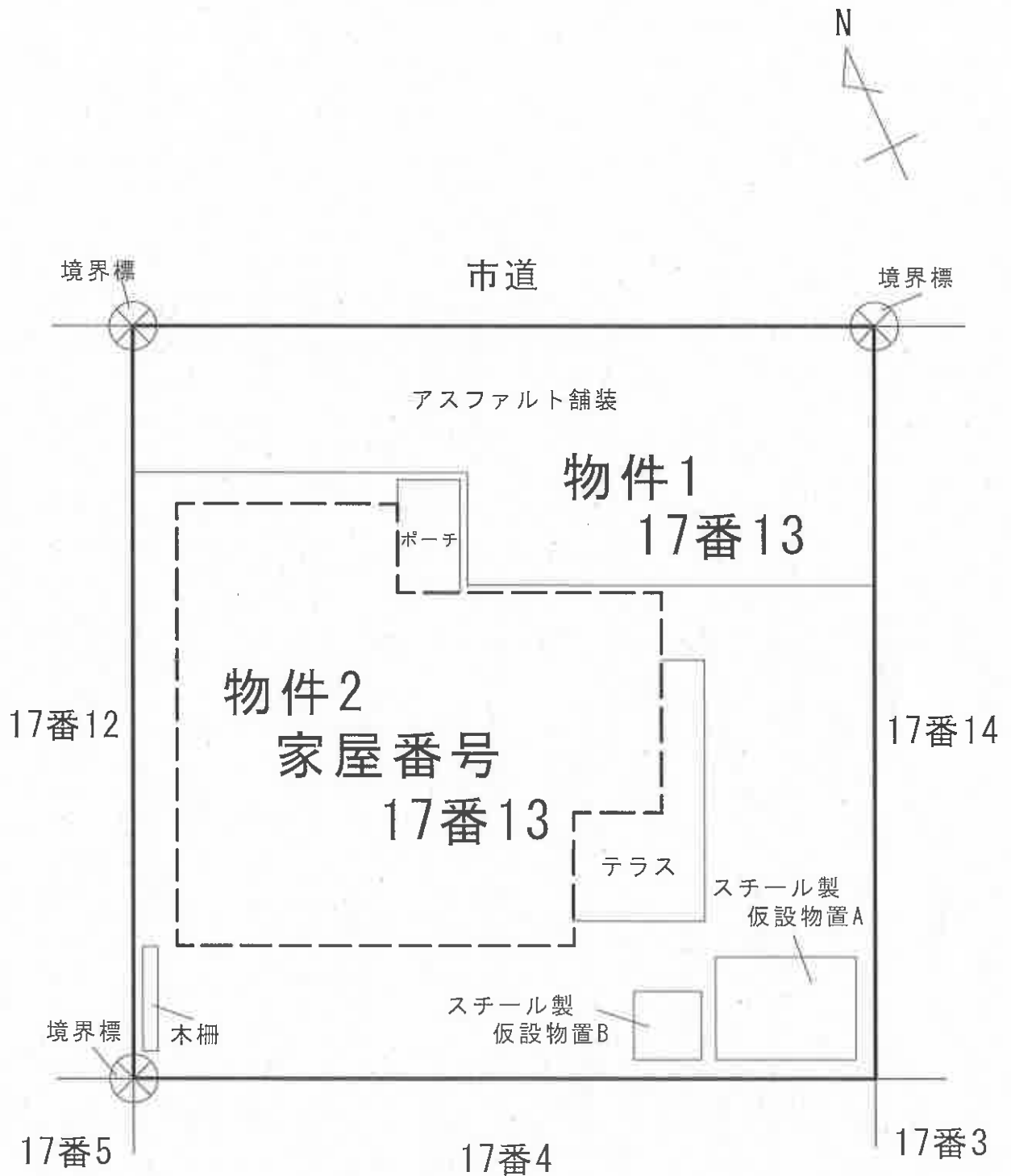
関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ B (所有者Aの元妻)	1 Aは、令和4年6月ころに目的建物から出て行きました。その後私とAとは、令和5年6月10日に離婚をしましたが、その際に私とAは、Aから私への慰謝料の代わりとして、住宅ローンは、Aが支払い、私と家族が目的建物に期間を定めずに無償で住むということで合意をしました。 2 目的建物に設置されている看板は、Aが個人で営業していた会社の看板ですが、現在目的建物内には、同会社が使用している部分は、ありません。なお、この会社は、登記はされていないと思います。 3 現在目的建物の設備で不具合のあるものは、ありません。 4 Aとの離婚後に目的建物に私と家族が住むようになってから、洋室3、同4及びトイレ1の照明器具は、私が購入して設置した物です。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7 年 6 月 1 3 日 (金) 16 : 30 — 16 : 35	(インターネット)	登記情報提供システム (目的土地上の既登記建物調査)
7 年 6 月 1 6 日 (月) 13 : 00 — 13 : 25	物件所在地	占有者 B に面談, 占有調査, 外部調査, 写真撮影,
7 年 6 月 1 6 日 (月) : — :	(郵便)	所有者 A に照会書及び連絡文書送付 (回答なし)
7 年 6 月 2 3 日 (月) 10 : 10 — 10 : 15	(電話)	B から聴取
7 年 6 月 2 7 日 (金) 10 : 00 — 11 : 00	物件所在地	立入調査, B に面談, 外部調査, 写真撮影, 評価人同行
年 月 日 () : — :		
年 月 日 () : — :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので, 立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので, 立会人 を立ち会わせ, 技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

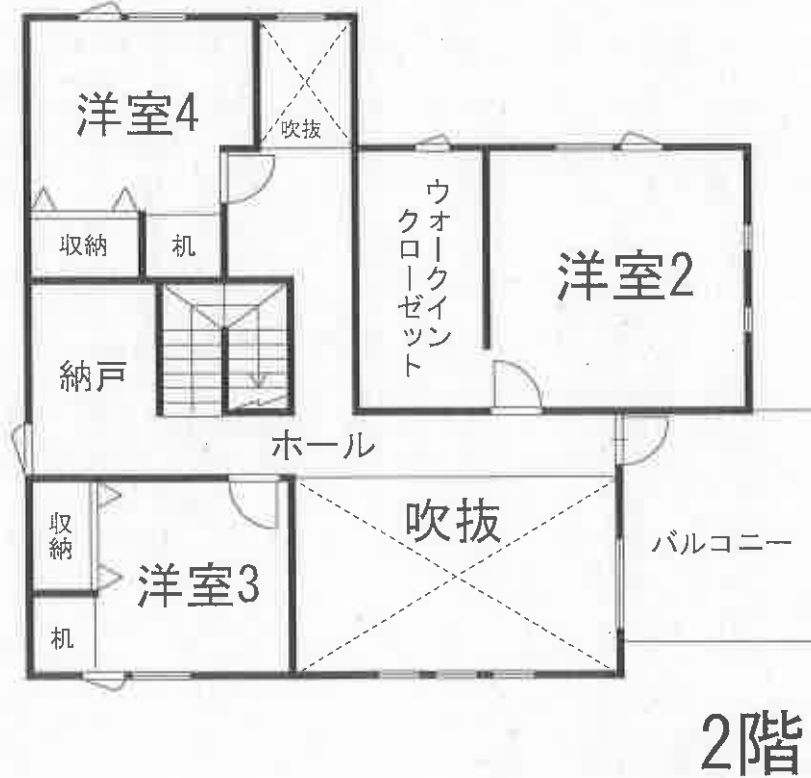
(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり
(6 枚目)

土地建物位置関係図



※本図は概略を示したものであり、実測図ではありません。

間取略図



全景(北東側から撮影)



居間, 食堂



台所



浴室



洋室1



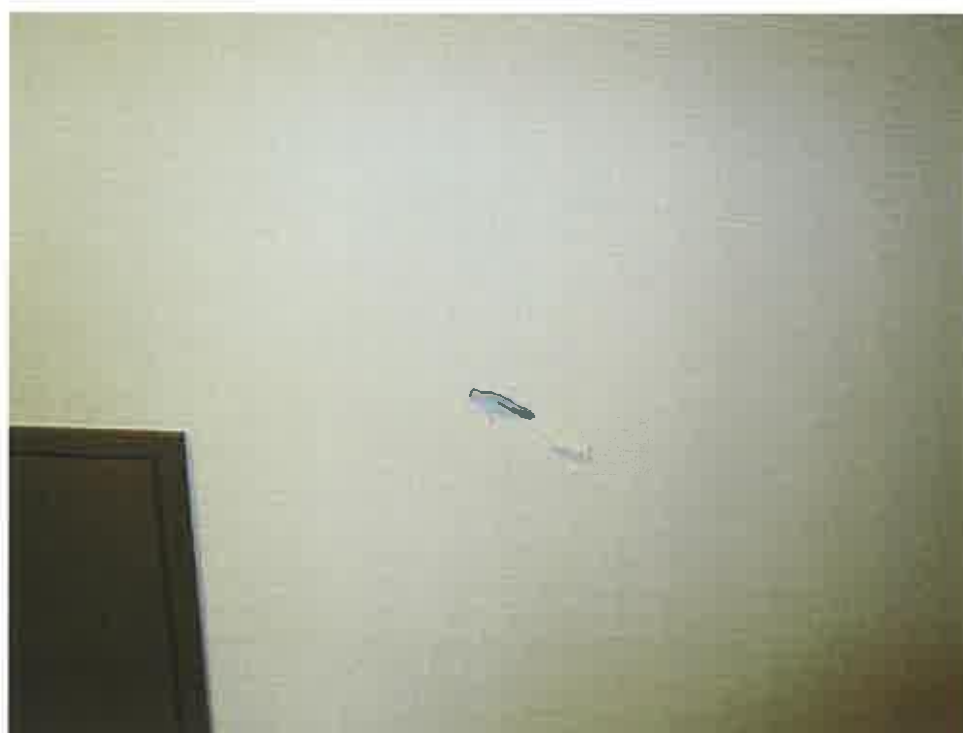
洋室2



洋室3



玄関ホールの穴



階段室の穴



仮設物置A及び同B



木柵



令和 7 年 (ケ) 第 45 号
令和 7 年 6 月 27 日 現地調査
令和 7 年 7 月 11 日 評 価

札幌地方裁判所 御中

評 価 書

評 価 人

不動産鑑定士 塩野 未来

第1 評価額

一 括 価 格	
金25,080,000円	
内 訳 価 格	
物件1（土地）	金5,080,000円
物件2（建物）	金20,000,000円

- 1 一括価格は、物件1，2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の土地の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは、物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類または品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ。

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	千歳市清流二丁目 17番13 宅地 237.86㎡	同 左
2	所 在 家 屋 番 号 種 類 構 造 床 面 積	千歳市清流二丁目17番地13 17番13 居宅 木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 1 階 76.18㎡ 2 階 59.62㎡ 延床面積 135.80㎡	同 左
番号	特 記 事 項		
—			

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	J R千歳線「千歳」駅の北東方道路距離約2.6km付近及び中央バス「清流3丁目」停留所の北東方道路距離約450m付近に位置する。（別添図参照）	
付近の状況	付近は、築年が比較的新しい戸建住宅が多い新興住宅地域である。なお、地域に特段の影響を与えるような要因は見当たらないことから、当分は現状のまま推移するものと思料される。	
主な公法上の規制等（道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制） ※千歳市担当課照会	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 準工業地域 60% 200% — 地区計画（根志越第2地区内の住宅A地区）、 景観計画区域、居住誘導区域、その他の建築の際の規制の詳細については、市担当部署に問い合わせのこと
画地条件	北東側間口約15.3m、奥行約15.5mの略正方形形状の中間画地である。	
接面道路の状況	北東側にて現況幅員12mの舗装市道（建築基準法第42条1項1号）に接面した中間画地。	
土地の利用状況等	現況調査報告書参照	
供給処理施設	上水道：あり ガス配管：あり 下水道：あり	
特記事項	1 本件土地は、周知の埋蔵文化財包蔵地には該当していないが、周辺に周知の埋蔵文化財包蔵地が存している。（千歳市埋蔵文化財センター照会） 2 本件土地については、現地調査及び過去の航空写真等による履歴調査等の結果、土壌汚染の可能性は確認できなかった。但し、評価人としての調査には限界があることから、詳細については専門家による調査を要する。 3 境界標は南側を除く、3カ所確認できた。公図等からの概測によれば概ね登記面積どおりであるが、正確な面積は専門家等の実測を要する（土地建物位置関係図参照）。 4 本件土地は、北東側市道及び各隣接地とは概ね等高に接している。なお、対象地内は概ね平坦となっている。 5 対象地内南西側に所有者所有の木柵（高さ約1.2m）が設置されている。 6 対象地内北側から東側かけてアスファルト舗装がされている。	

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物	
建築時期及び 経済的残存 耐用年数	建築年月日（登記記載）	平成29年6月16日 新築
	経過年数	約 8年
	経済的残存耐用年数	約 22年
仕 様	構 造	木造2階建
	屋 根	合金メッキ鋼板
	外 壁	サイディング等
	内 壁	クロス貼等
	天 井	クロス貼等
	床	クッションフロア、フローリング、磁器タイル等
	設 備	電気、給排水、バス、トイレ（2カ所）、給湯設備等
	その他	—
床面積（現況）	第3項目的物件欄記載の通り。	
現況用途等	階 層：2階建	
	現況用途：居宅	
品 等	間取り：4LDK	
	（間取略図のとおり）	
品 等	・総 合：概ね普通。	
	・使用資材：概ね普通。	
品 等	・施 工：概ね普通。	
保守管理の状態	建物室内は、1階ホール及び階段室の内壁に穴が開いていること、居間の内壁クロスが一部剥離していることのほかは、経年相応の状態、大きな損傷はない。建物外部も目立った損傷はみられず、築後約8年であること等を総合的に判断した結果、保守管理の状態は普通程度と判断した。	
建物の利用状況	現況調査報告書参照	
特 記 事 項	1 千歳市建設部建築政策課照会によると、本件建物については新築時の建築確認申請は行われており、工事完了検査についても検査済みである。 2 目視による調査の範囲においては吹付けアスベストの使用の有無等については特に確認できなかった。但し、評価人としての調査には限界があること等から、詳細については専門家による調査を要する。 3 対象地内南側に所有者所有のスチール製仮設物置A（約6.09㎡）、同B（約1.96㎡）が設置されている。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ＝オ
1	43,300	1.00	237.86	0.95	9,784,000

ア 標準画地価格：第6参考価格資料記載の公示地あるいは基準地等との規準あるいは比準価格[類似地域所在の取引事例価格]等を比較考量の上、標準画地価格を上記のとおり査定した。

イ 個別格差：対象不動産の個別的要因を総合的に勘案検討し、個別格差をなしと判断した。

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地の適応性から▲5%と査定した。

② 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価（ポーチ、テラス、物置等を含む）を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床 面積(㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格 (円) ア×イ×ウ＝エ
2	227,000	135.80	0.70	21,579,000
附属 建物	—	—	—	—
計				21,579,000

ウ 現価率

・耐用年数に基づく方法（定額法）と観察減価法（物理的減価等を考慮）を併用し現価率を査定した。

$$\begin{array}{ccccc} \text{耐用年数に基づく} & & \text{観察減価法} & & \text{現価率} \\ \text{方法（定額法）} & & & & \\ (30-8) / 30 & \times & 0.95 & = & 0.70 \end{array}$$

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ=ウ
1	9,784,000	0.35	法定地上権	3,424,000

イ 土地利用権等割合：土地利用権価格等を法定地上権と判定し、その割合を35%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) (1①オ、1②エ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ)イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修 正 エ	競売市 場修正 オ	その他の 控除減価 (敷金等) カ	評価額(円) (ア±イ)×ウ ×エ×オーカ (万円未満切り捨て)
1	9,784,000	－ 3,424,000		1.00	0.80	－	5,080,000
2	21,579,000	＋ 3,424,000	－	1.00	0.80	－	20,000,000
一 括 価 格(合計)							25,080,000

ウ 占有減価修正：特になし。

エ 市場性修正：比較的新しい建物が多い新興住宅地で、周辺における住宅需要は安定的であることから、市場性修正率はなしと判断した。

オ 競売市場修正：第2の評価条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮の上、競売市場修正率として0.80を乗じた。

カ その他の控除減価（敷金等）：－

第6 参考価格資料

1 地価公示価格[千歳-17]

所 在 : 千歳市清流2丁目13番18
価 格 : 42,000円/㎡
位 置 : JR函館本線「千歳」駅の北東方道路距離にて2.5km
価 格 時 点 : 令和7年1月1日
地 積 : 357㎡
供給処理施設 : ガス・水道・下水
接 面 街 路 : 北東8m市道
用 途 指 定 等 : 準工業地域(建蔽率60%、容積率200%)
地 域 の 概 要 : 一般住宅が多い区画整然とした住宅地域

2 固定資産税評価額(令和7年度)

物件1 6,517,364 円
物件2 6,605,362 円

ここに掲げた参考価格資料は、当該不動産の評価額を算定するに当たって参考とした価格である。決定した評価額は不動産競売を前提とした価格であり、ここに掲げた額とは、その性質が異なるものである。

第7 附属資料の表示

- 1 受命物件の位置図
- 2 公図写し
- 3 閉鎖された地図の写し
- 4 建物図面・各階平面図写し
- 5 土地建物位置関係図
- 6 間取略図

以 上





※本図はA3版をA4版に縮小したものである。

請 求 部	所 在	千歳市清流二丁目				地 番	17番13			
出 力 縮	1/500	精 度 区 分	甲一	座 標 系 又 号 番 号 記 号	X II	分 類	地図(法第 1 4 条第 1 項)		種 類	土地区画整理所在図
作 成 年 月 日	平成11年10月16日				備 付 年 月 日 (原 図)	平成11年11月15日		補 記 事 項		

これは地図に記録されている内容を証明した書面である。

令和7年4月14日

札幌法務局恵庭出張所
登記官

請求番号：4-1
(1/1)



閉鎖された地図の写し

※本図はA 3版をA 4版に縮小したものである。



これは図面に記録されている内容を証明した図面である。
令和7年4月14日 札幌法務局忠通出張所 登記官

各階平面図

建物図面

17-13

家屋番号

千歳市清流二丁目17番地13

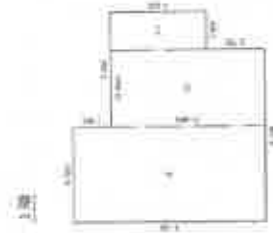
建物の所在

建物図面写
各階平面図写

求積表

イ	4.550	×	9.100	=	40.5000
ロ	3.640	×	2.80	=	26.35200
ハ	1.820	×	550	=	8.281000
計					75.133000

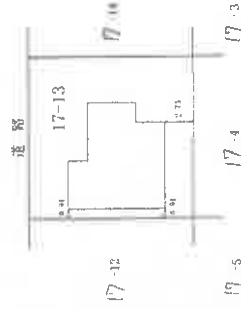
床面積 76.18 m²



求積表

イ	3.185	×	9.100	=	28.983500
ロ	0.455	×	7.280	=	3.312400
ハ	4.550	×	4.550	=	20.602500
ニ	1.820	×	3.640	=	6.624800
計					59.523200

床面積 59.52 m²



※本図はA3版をA4版に縮小したものである。

作成者

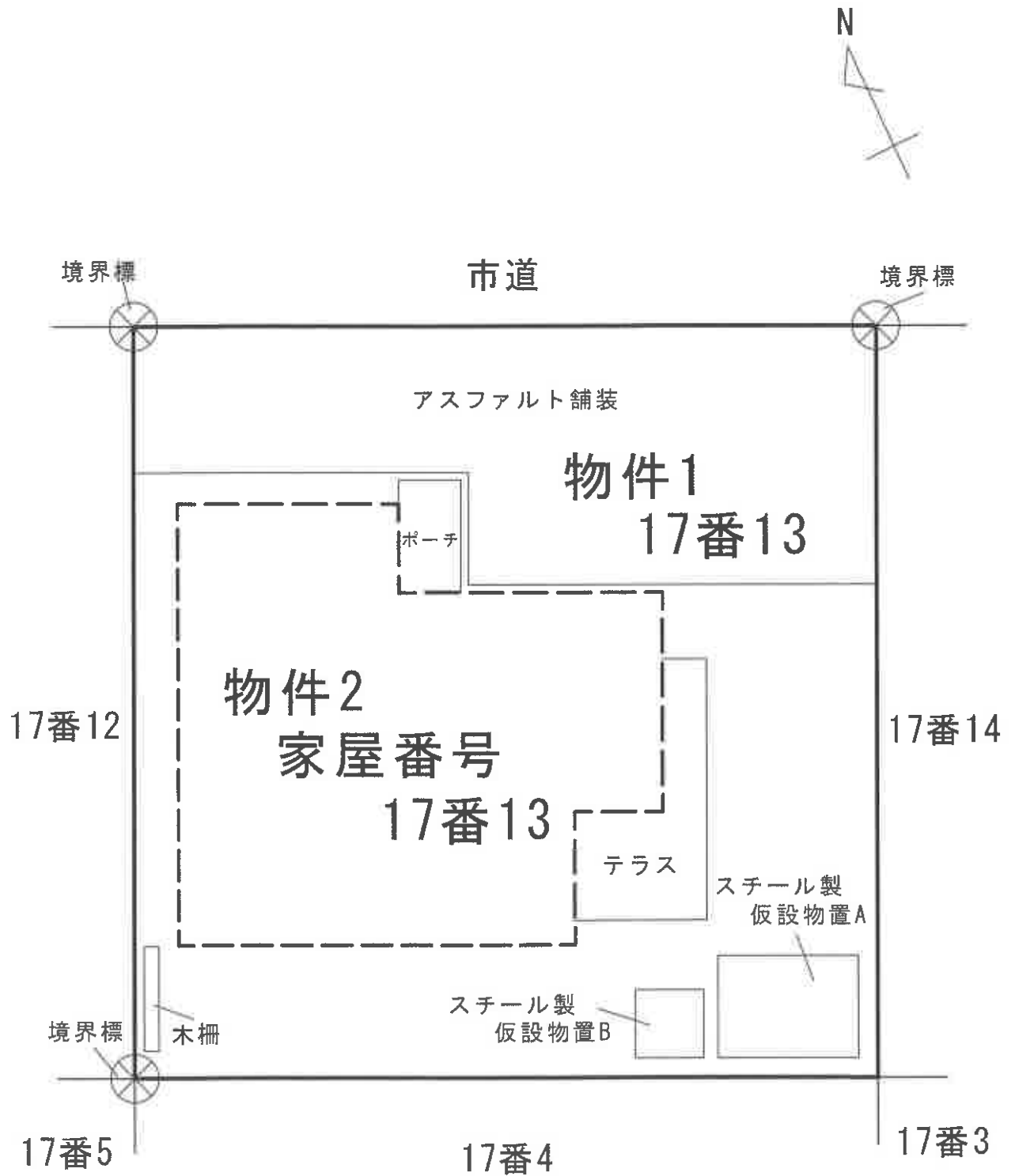
縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

(札幌土地家屋調査士会用紙)

土地建物位置関係図



※本図は概略を示したものであり、実測図ではありません。

間取略図

